

# 神戸医療福祉専門学校中央校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和2年6月実施】

令和元年度自己点検自己評価(平成31年4月1日～令和2年3月31日)による

項目	点検項目	自己評価		自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1				適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1		
1 教育理念・目的・育人人材像	1-1-1 理念・目的・育人人材像は、定められているか	4		教育理念・目的・育人人材像は、明文化・文章化されており、事業計画に目標・方法等を具体化している。会議や研修等においては、理念等の徹底をしている。常に業界とのコミュニケーションを図り、産学協同での教育を心がけている。業界が求める人材像を明確にするとともに、教科目標・教育課程・授業計画等の策定に活用している。事業計画では「地域連携」「業界との連携」を掲げ、特徴ある教育プログラムを構築し、変化する社会に対応するために、中・長期の事業計画を策定し、毎年見直しをしている。今後は、教育をとり巻く環境変化や学生の質的变化に対応するため、地域における活動や業界との連携を深めつつ、カリキュラムにはキャリア教育の実践を盛り込んだ内容を加え、さらなる職業人教育の質を高めていく。	職業人教育を通して社会に貢献することをミッションとし、3つの建学の理念(実学教育・人間教育・国際教育)の実践、4つの信頼(学生、保護者からの信頼・高等学校からの信頼・業界からの信頼・地域からの信頼)を得られる様に学校運営の中で、各業界のニーズに即した人材育成を行っている。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりと教育理念、教育目標が設定され、日々の教育が推進されていることが素晴らしいと思います。</li> <li>・教育理念・育人人材像は明確に定義されており、それを実現させるための教育プログラム・事業計画の策定・実践が出来ている。</li> <li>・毎年事業計画を見直すことによって医療人としてコンプライアンスをしっかりと守れるものと期待しています。</li> <li>・現在の医療、介護業界の変化に対応し、社会で必要とされる人材を理念に基づき育成し続けて下さい。</li> <li>・理念は事業運営において最も重要なものと考えます。その理念や目的、使命を常に明文化し、随所に具体化して実践されていると思います。</li> <li>・各業界のニーズである即戦力への教育を実践している為、良いと思う。</li> </ul>
	1-1-2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか							
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか							
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか							
2 学校運営	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4		法人としては、事業計画・運営方針を定めることを重要視している。運営方針は学校事業計画書内に理念、目標、具体的な計画等と関連づけて明文化している。	事業計画の構成は。組織目的(普遍的に学校が目指す開校、組織運営の目的)、運営方針(中期的に組織として目指す方針)、実行方針(中期的な組織の運営方針を実現する為の単年度の方針)、定量的目標(入学者・教育成果<中退防止・国家試験合格数>・就職率等)、定性的目標(人材育成や組織のあり方等単年度目標)、実行計画(その方針を実現させる為の具体的な計画)、組織図、職務分掌、部署ごとの計画・スケジュール、意思決定システム、収支予算書(5ヵ年)で毎年作成している。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念・育人人材像は明確に定義されており、それを実現させるための教育プログラム・事業計画の策定・実践が出来ている。</li> <li>・事業計画・運営方針を最重要視し、細部にわたり業務に取り組んでいると推察できる。</li> <li>・毎年、それらの書類を作成していくのは、大変な作業だと思いますが、実態に即した生きた計画を定められています。</li> <li>・中退防止に取り組んでいる。</li> </ul>
	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか			毎年、業界のニーズに対応した事業計画・運営方針を作成するように努め、明文化された事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての教職員が理解した上で各業務に取り組んでいる。				
	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4		運営のための組織図・職務分掌・会議の目的と主催者(決定権者)は事業計画に含まれており、会議・研修で共有している。会議、委員会等の議事録は開催毎に作成し、関係者に共有をしている。組織運営のための規則・規定を設け、運用に不足がある場合は、運営会議で検討し改正を行っている。	職員の職場に関するアンケートを実施。理念、目標の理解度や、職場満足度、各自の希望などの項目でアンケートを取り、その結果を受けての、職場環境の改善にも着手している。学校運営に必要な組織体制は整っていると思われるが、今後は各部署間連携を活性化し可視化することで新たな方向性も模索できるのではないかとと思われる。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営サイドと教職員間でのコミュニケーション・情報の共有化がはかられており、適切な学校運営を可能にしている。</li> <li>・職場アンケートの実施は非常に良いことだと思います。絶えず職場環境が改善されるものと推察します。</li> <li>・職員アンケートはとても有効だと思います。結果をオープンにし、課題については一つずつ改善していけるとより良い組織になると思います。</li> <li>・可視化することにより、さらなる改正を考えている。</li> </ul>
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか							
	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか							
	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	3		意思決定システムは事業計画において明文化しており、諸会議の位置づけについても明記されている。意思決定を行う会議の進め方、結果の取り扱いを重視し会議毎に参加者は選抜され、その中で主催者に権限は委譲されている。	問題解決サイクル(問題発見⇒問題分析+仮説立案⇒対策立案⇒実行⇒検証)を回していることが意思決定プロセスを効果的に活用できている。学校運営を円滑に進めるには、個人レベルでの今後更なるスキルアップが必要である。	3.8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定システムに基づいて、PDCAサイクルが有効に機能し、学校運営がなされることを期待します。</li> <li>・学校運営サイドと教職員間でのコミュニケーション・情報の共有化がはかられており、適切な学校運営を可能にしている。</li> <li>・全員の意見が反映されたものと思います。</li> <li>・組織図の徹底及び権限移譲がバランスよく実施出来ると良いと思います。</li> <li>・個人レベルでのスキルアップ方法を立案して頂きたい。</li> </ul>
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4		システムは、学生・入学者・卒業生・実習先・就職先等の対象別、教務・就職・広報等の業務別、において幅広く導入されている。学校セクション毎の情報システム化、学生の情報の管理、その結果としての業務の効率化が推進されている。	業務の効率化と同時に、学生一人ひとりの情報を一元管理することにより、学生への様々な支援や求められる人材の養成や国家資格取得に結びつけることが出来る。その学生支援の精度を今後更に、高める必要がある。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりのために、情報システムが有機的に活用されていることが素晴らしいと思います。</li> <li>・学校運営サイドと教職員間でのコミュニケーション・情報の共有化がはかられており、適切な学校運営を可能にしている。</li> <li>・情報システムを充実させることによって、業務の効率化ができ、学生支援がより一層高まるものと推察します。</li> <li>・学生一人ひとりの情報の一元管理の為、より機能の良いソフトが導入出来ると良いと思います。</li> <li>・出来ている。</li> </ul>	

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
3 教育活動	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」に従い教育課程の編成方針、実施方針を定めている。編成方針や実施方針はディプロマポリシー(DP)やカリキュラムポリシー(OP)に反映させている。修業年限に応じた教育到達目標については科目間の関係性を重視し、カリキュラムマップを作成し明確にしている。	修学2～3年間の流れや目標(教育課程)を入学前教育時から説明し、各学年時における授業開始前のオリエンテーションにて修学2～3年間、各学年時の目標を説明している。	4	・必要十分な体制が整えられている。 ・修学2～3年間の流れ目標について、オリエンテーションをすることは大変良いことだと思います。 ・入学前から学生が見通しをもって学習に取り組みるようにしっかり説明しておられます。 ・実施方針を定めて、長い目で対応策を作られている。学業中心に考えられている。
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか					
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」に従い教育課程の編成をしている。将来、業界から求められる人材に必要な知識・技術の養成についてステップアップ(階段式)形態で初年度(1年次)より段階を経て基礎から応用実践までを編成している。	近年、カリキュラムに各校独自の特色を出すことも望まれており、介護総合演習や実技指導などにて卒業生の出講や、業界また他業種の方々により講義を実施している。	4	・業界・他業種に協力を得るなどして、目的・目標に沿った教育課程が実践されている。 ・業界から求められる人材(知識・技術)養成は、基礎が一番大事だと思う。次に応用だと思います。 ・多彩な卒業生がおられて素晴らしいです。是非、卒業後も後輩の教育に携わってほしいと思います。 ・卒業生の活用をこれからも実施して頂きたい。
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4	業界団体の学会・会合等への参加、業界開催の研修内容等の把握より業界や社会のニーズの把握に努め、教育に反映させている。	社会的ニーズを教育内容に反映させるため、講義・演習にて卒業生の講義や実技指導などを積極的に実施している。	4	・業界全体からのニーズをしっかりとらえ、教育課程、教育内容に反映させているところが素晴らしいですね。 ・業界・他業種に協力を得るなどして、目的・目標に沿った教育課程が実践されている。 ・身近に実技指導を通じて取得することは、社会的ニーズに対比してはり師きゅう師の職務と責任の必要性が理解できるものと思います。 ・多彩な卒業生がおられて素晴らしいです。是非、卒業後も後輩の教育に携わってほしいと思います。 ・卒業生の活用をこれからも実施して頂きたい。
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	4	キャリア教育に対する考え方やフレームを「キャリア教育ロードマップ」として作成し、キャリア教育に取り組んでいる。実習や学外研修で職業人としての自覚や態度を涵養しつつ、専門知識・技術を生かすためのコミュニケーション能力、問題解決能力を身につける指導を実施している。	働くための知識・技術と社会人基礎力を踏まえたキャリア教育の充実が求められている現在、コミュニケーション能力は重要なポイントであると考えている。実習前後や普段より個別面談を実施し、振り返りを行うことで教育効果を上げている。特にコミュニケーション能力に問題がある場合はその状況(状態)の把握、学生自身によるその状況の認識、それによって発生する問題点、改善方法、目標を提示しながら進めることで、一様の成果が現れるケースもある。	3.8	・学校及び教職員による様々な工夫により、効率的かつ効果的な教育活動が行われている。 ・職業人としての自覚と態度を涵養しつつコミュニケーションを徹底的にシミュレーションし、認識を高めることを期待します。 ・他の養成校に比べ、即戦力となる人材が多い様に思う。専門的なことと社会人としての心構えのバランスが取れていると思います。 ・コミュニケーション能力は仕事をする上で、最も重要なスキルのひとつです。近年、他社との関わりを不得手とする若者が増えておりますので強化ポイントにして頂けるとありがたいです。 ・対人援助職としてのコミュニケーション力UPはこれからも大切にして頂きたい。
	3-9-4 授業評価を実施しているか	3	学期終了時に科目毎に授業に対するアンケートを実施している。アンケートは科目担当者へフィードバックし、より質の高い教育を目指し反映させている。	現時点では、対象を専任教員のみとしているが、今後は兼任教員を含めて実施したい。	3.2	・今後さらに授業評価を受ける教員層を広げ、さらなる教育の質の向上を期待します。 ・兼任教員の授業評価の実施を進めてもらいたい。 ・兼任教員も是非実施下さい。 ・非常勤講師への評価を考えて頂きたい。講師のモチベーションUPを考えてみてはどうでしょうか。
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	成績評価や単位認定の明確な規定が学則や履修規定・試験規定により明文化されており、教員・学生ともに周知されている。また学生に対しては各学期開始前のオリエンテーションにて再確認を実施している。卒業生の学会発表等の成果を把握し、授業でフィードバックしている。	定期試験の結果が国家試験出題範囲の理解となるような評価方法を検討するよう心掛けている。既に定期試験に関しては五者択一のマークシートを取り入れており客観的な評価の実施を目指しているが、思考力・表現力・文書力等の評価が難しくなる面を持ち合わせている。このため日頃より文章読解力の強化が図れる課題などを取り入れ実践している。	4	・明確な評価基準で学校運営がなされている為、問題は見当たらない。 ・国家試験出題傾向は、思考力、表現力、文章力の評価に力点を置いて合格率アップを期待します。 ・新しい入試制度でも思考力や文章力など考える力、表現する力が求められているように世の流れなのだと思います。 ・国試に慣れる為にマークシート式を採用しており、良いと思われる。
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか					
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3	学生便覧等に卒業後に得られる受験資格について明記されている。また、養成課程目標とする資格取得のために養成施設指定規則に定められた時間数以上の授業時間を確保している。最終学年では国家試験合格に向けた年間タイムスケジュール作成や個々の学生の弱点科目(項目等)の把握に努め、到達状況の確認、指導を実施している。	1・2年次より国家試験を意識した授業を実施している。また、2年次では放課後学習会やST(スチューデント・ティーチャー)制度を導入し、個別指導の徹底を図っている。	3.9	・個別指導を含め、フォローアップの体制が構築されている。 ・最終目標は、免許取得であることを指導して下さい。個別指導は、大変でしょうかがかなり期待できるものと思います。 ・国家試験合格を目指して今の時点でも大まかな目標が出来ています。 ・国家試験合格がすべての最終目標となりますので強化して実践をお願いします。 ・国試を意識した授業をこれからもお願いしたい。
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか					

項目	点検項目	自己評価		自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1				適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1		
3 教育活動	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4		「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師に係る学校養成施設指定規則」の規定に基づき教員人数は充足している。新入職の兼任教員には、グループ校で講師研修、専任教員はFDマイクロレベル研修や公開授業を実施して、スキルアップを図っている。	教育力向上に向けて、学園グループのFD研修(ミドルレベル・マイクロレベル)を受講し、より質の高い教育を目指していきたい。専門性が高く、幅広い医学的知識を必要とするため関連セミナーや学会への参加を促している。 教育理念を達成するために学科事務局組織を編成し、会議を実施し体制を整備している。また年度初めには各部署にて事業計画を作成し共有することで組織運営を実施している。	4		・教職員には様々な研修機会が与えられており、資質の向上を図る事が出来る運営がなされている。 ・学園グループのFD研修(ミドルレベル・マイクロレベル)を受講し、教員のレベルアップを期待しています。 ・教育活動において教員のレベルアップは、必須だと思います。忙しい日々の業務の合間をぬった研修は大変かと思いますが、是非継続的に取り組み下さい。
	3-12-2 教員の資質への取り組みを行っているか							
	3-12-3 教員の組織体制を整備しているか							
4 学修成果	4-13-1 就職率の向上が図られているか	4		令和元年度卒業生の就職内定率介護福祉士科は100%、鍼灸科は94%という結果を残している。	常に学生が求める就業先からの求人を得るために求人依頼を発送し、また学生との面談を実施して希望就業の把握に努めている。	4		・学校全体の取り組みとして就職率・各種資格・免許の取得率を向上させるよう常に努力している。 ・鍼灸科も100%目指してください。 ・就職先は幾多もあろうかと思いますが、学生の希望する満足度の高い就職先にご縁があるように施設とのコミュニケーションを続けて頂ければと思います。 ・就職内定率が良いのは、業界より認められており実績があるからである。
	4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	3		令和元年度国家試験の合格率は以下の通りである。 介護福祉士 90.9%(69.9%) はり師 新卒93.7%(89.3%)、既卒40%(17.4%) きゆう師 新卒93.7%(89.3%)、既卒40%(17.4%) ※( )内は全国平均	入学した全ての学生に目指す資格を取得させるという学園・学科のミッションを達成すべく、個々の学生の指導体制を整備・強化する必要があると考える。 目標達成には初年度教育の充実、また保護者の協力が必要となっている。	3.6		・全国平均よりかなり高い資格・免許の取得率です。今後さらに家庭(保護者)の協力を取り付け、100%にどこまでも近づくことを期待。 ・学校全体の取り組みとして就職率・各種資格・免許の取得率を向上させるよう常に努力している。 ・既卒者の40%は気がかりです。留年、追試を厳しくされてはいかがですか。 ・高い合格率で素晴らしいと思います。より100%に近づくように期待しています。 ・学力向上に向けての取り組みをお願いします。
	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	3		卒業生の活躍は就業先からの評価や役職への登用、独立開業者の増加、実習指導の出来る卒業生の増加などから評価できると考える。 前年度、前々年度卒業生の動向の確認などを定期的に実施していることから把握していると考え。	就業先への訪問や業界会合への参加等を通して、業界のニーズを把握し卒業研修を充実させる必要がある。就業先において役職への登用や企業した卒業生へ特別講師依頼を行い、講義・演習等を実施している。	3.6		・卒業生の実習指導・卒業研修等を通じて、その社会的評価の把握に努めている。 ・貴学の情報収集能力は素晴らしいと思います。 実際、当方においても役職につかれ活躍される卒業生が多くおられます。先生方のご指導の賜物です。 ・専門家としての話を在校生へ伝えることは良い刺激になりモチベーションUPへつながる。
5 学生支援	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4		就職支援機能を学科内に置き、専任教員が学生への就職支援相談を実施している。	就職支援に関しては関係する法規やマナー、面接技法などを授業で指導している。また就職に関する調査アンケートを個別に実施し、就職相談や求職依頼に活用している。	3.9		・面接もよく訓練されています。入職後もマナーや言葉遣いが丁寧です。 ・出来ている。
	5-17-1 退学率の低減が図られているか	3		退学の理由としては学力不振が最も多いが、近年では学力不振の背景に心理的な課題や目的意識の喪失などが伺える。退学率の低減のために学生個人の特性を理解するためにサポートアンケートを実施し、学生個別面談への活用や日々の学生動態と照らし合わせて学生の変化を察知できるよう努めている。またスクールカウンセラーや進路変更委員等が退学防止に向けた取り組みを行っている。	専門学校は「プロ」を養成するための学習する場であり、強い意志を持って臨む必要があると考えている。入学時や在学中も目的目標設定を明確にできるよう授業内や個別面談によりモチベーションの維持に努めている。 進路変更委員も含んだ教職員個々のカウンセリング力のさらなる向上が求められる。また、保護者との連携の強化も必要となる。	3.2		・新型コロナウイルスによる休業の影響で今後数年は、就職はきびしいかもしれませんが、アルバイト先もなくなると生徒さんも学業継続が困難かも知れません。サポートや相談体制をしっかり維持してください。 ・保護者との連携も積極的に取り入れ、個々のカウンセリングを通じて、退学率低減に取り組んでいる。 ・退学率が多いのか少ないのかお伺いします。 ・モチベーションの維持というのは目の前の明確な目標や目的意識がないと難しいと思います。継続してお願いします。 ・短期目標を一つ一つクリアすることにより、大きな目標を達成できる様にしていただければ…。
	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	4		学習面、メンタル面・健康面、経済的な問題などの相談を各所で受け入れる体制を整備し、有効に機能させている。必要な学生には、学内のスクールカウンセラーを配置し、カウンセラーと教職員がチームとしてアプローチし、問題の解決にあたっている。 留学生に関しては通常授業以外の時間帯を設定し、対応を始めている。日本語能力の向上と文化について広く身につけて頂けるように組織として支援している。	学生の多様な問題に対応するため、サポートアンケートの活用、教職員のスキルアップ、カウンセラーとクラス担任との連携の強化などを行う。 一昨年に比べ、スクールカウンセラー(相談室)の利用が増えている。利用によりモチベーションの向上が得られたケースも認められている。	4		・スクールカウンセラーと教職員連携による問題解決が実践できている。 ・スクールカウンセラー(相談室)の利用が増えたというのは良い傾向だと思います。入り易い相談し易い雰囲気があるのだと思います。 ・スクールカウンセラーの利用がUPしていることは、良いことであると思います。
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか								

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
5 学生支援	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	学生の経済的側面の支援は、フィナンシャルアドバイザー研修を受けた職員によって①入学前②入学後において個別相談を実施している。学費相談を受けた学生個人に応じて、学費支払いと奨学金制度での資金のやり繰りにおいてシミュレーションを実施している。学生支援機構においては借り過ぎ防止にも努めている。健康面については、学校健康法に基づき4月の健康診断の実施、必要に応じて再検査の案内を行っている。	学費支援システム・特待生選抜制度・在校生援助奨学金・学びなおし支援金など複数の学校独自の支援制度を活用し、個々の学生の状況に応じたサポートを行う。特に奨学金の借り過ぎ防止の対策と卒業学年においては就職状況も把握することを努めていきたい。健康面においては、再検査の受診率100%を目指す。	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な支援体制が用意されており、問題は見当たらない。</li> <li>様々な事情を持ちながらも学習、就労意欲のある学生がたくさんいると思います。サポート体制の強化により、入学を目指す学生が増えるを期待します。</li> <li>健康面でのfollowは必要で、実習生となる場合、受け入れ先に迷惑にならない様にすべき。</li> <li>健康診断結果を元に身体状況を把握することの大切さを認識出来る良い機会となる為、定期面談による健康面のフォローを再検査者対象に実施してみてもどうか。</li> </ul>
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか					
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか					
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか					
	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	4	本校のミッションである職業人教育や就職、学生の資格取得実現のためには学校だけでなく家庭を中心とした学校外での学生動向も把握するように努め、問題解決にあたり、保護者との連携の強化を図っている。	入学直前に保護者会を実施、また、入学式後に学校代表、学科代表、教職員の紹介などの場を設け、学校の考え方、支援方針と体制をご理解頂き、保護者に学校との協力をお願いしている。	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者との連携は不可欠です。是非SNSなどもうまく利用し、深めて頂きたいと思います。</li> <li>出来ている。</li> </ul>
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	3	卒業生との(業界)連携はますます重要になると考えられ、学科ごとの卒業研修を充実させる必要がある。現在、求職や開業相談などについては、学科教員が対応している。産学連携による卒業後の再教育プログラムについてはSNSなどを活用し、業界団体また関連職種が開催する講習会等の案内を伝達し参加を促している。	SNSなどを活用し卒業生の近況の情報収集を行い、必要に応じて卒業生への支援を実施している。卒業教育に関しては学校行事等の兼ね合いより実施できていない現状である。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業生が望むのであれば、卒業教育に注力を。</li> <li>いつも貴学からの情報提供には感謝しております。</li> <li>卒業生は学校の宝です。未永く交流し、学校の発展にも寄与して頂けるように働きかけて頂きたいと思います。</li> <li>卒業生への勉強会があれば良いと思います。</li> <li>産学連携は企業側にとってもより一層取り組むべき課題であり、2020年度中に具体的に立案してみてもどうか。</li> </ul>	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか						
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか						
6 教育環境	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」に従い、設備・教育用具等を整備している。	教育効果とその必要性を検討し実習施設の拡充、教育用具等の充実をさらに図る必要がある。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備・用具を含め必要十分な教育環境が整備されており、特に問題は見当たらない。</li> <li>費用のかかることですが、計画的に整備下さい。</li> </ul>
	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	滋慶学園の建学の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」の一環として学外実習や海外研修を実施している。	学外実習では、学生にとって多岐に渡るケースに触れる機会を多く設けたい。海外研修は、介護福祉士科は昨年10月にオーストラリアで実施。鍼灸科はタイで実施する予定であったが新型コロナウイルス感染拡大のため学生の安全を第一に考え、中止とした。なお、学外実習として病院・スポーツクラブチーム・介護福祉施設での見学等の実習を実施した。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で中止となったことは残念ですが、これからも学外実習、海外研修を行われてください。</li> <li>今年はコロナによって3密を避け、感染状況を毎日掌握しながら実施して下さい。</li> <li>鍼灸科は残念でした。今後しばらくの間は海外研修も難しいかもしれません。学生の興味・関心に沿った代替案もご検討ください。</li> <li>国際的な視点も大切と言える。</li> </ul>
	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	想定される災害に対する防災体制は整備されており、緊急連絡メールシステムが設置されている。消防訓練は、消防署員立会いの下で年1回行っており、評価を翌年に生かし改善している。緊急地震速報対応訓練も行っており、AEDは設置済みで月1回の点検を行っている。また、損害保険などにも加入している。	緊急時により近い消防訓練を行うため、各担当者の役割を越えた訓練を通して安全管理体制を強化をした。教職員は、AED利用講習会は受講しているが、緊急時に活用できるかどうか定期的な研修を三田校で予定している。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備・用具を含め必要十分な教育環境が整備されており、特に問題は見当たらない。</li> <li>費用のかかることですが、計画的に整備下さい。</li> <li>学生も教職員も非常時は慌てます。シミュレーションし、訓練を重ねておくことが大切だと考えます。</li> </ul>
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか						

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
7 学生の募集と受け入れ	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	兵庫県専修学校各種学校連合会の規定に基づき、募集開始時期、募集内容(入試日程・入試制度・特待生試験・学費明記など)を決めている。入学案内は、三田校と共通のもので、学校・学科・設備・在校生、卒業生紹介・就職支援や実績・オープンキャンパス等が理解できる様に編集し、それを基にホームページも整備している。個人情報保護委員会を設置し情報を管理している。	モチベーションの維持・強化をするために、入学前にはオープンキャンパス→入学前教育を実施し、入学後の授業や学生生活、職業観を意識した形での教育を実施し、スムーズに専門教育に取り組める様していく。また同時に職業に関する啓蒙活動にも取り組んでおり、業界と連携し、中学生のとらいやるウィークでの介護職経験の実践の機会を提供している。今後一層拡大していきたい。	4	・適切に情報が開示・運営されている為、特に問題は見当たらない。 ・この仕事にどれだけ興味を持ってもらえるかが大切だと思います。トライやるウィークやボランティア体験など現場提供に私どもも協力してまいりたいと思います。 ・数多くオープンキャンパスを実施しており、早目の対応をしている。
	7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか					
	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	学則を基にし、募集要項で明記した入学選考方法通りに選考をしている。各回の選考に関しては、スケジュールを募集要項に明示し、決められた日程に実施している。また、選考終了後は判定会議により可否を確定する。面接、提出書類、選考試験の結果を踏まえ、将来医療・福祉の業界で働くことに適性があるかを総合的に判断している。	将来の希望分野への適性をきちんと見極めるため、面談の比重を高くしている。結果として学力のみにとらわれない、モチベーションの高い学生確保に役立っている。また、AO入試を導入し、学力に捉われず、キャリア教育の一環として、やる気を重視した入学選考を継続する。	4	・適切に情報が開示・運営されている為、特に問題は見当たらない。 ・面談の重視は有効かと思えます。モチベーションが高いと多少の学力は逆転することがまあると思われれます。 ・学力のみならず内面評価をこれからもして頂きたい。
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか					
	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	学納金は、各学科の教育目標達成を目指した学校運営に必要な金額であり、人件費、実習費、施設運営費等に当てられている。毎年、各学科において教材及び担当講師の見直しを行っており、諸費用の無駄な支出をチェックしている。各学科から提出された案を元に運営会議にて検討され、決定をしている。また、入学辞退の取り扱いについては、募集要項に明記して対応している。	入学以前の募集要項や説明会において、事前に年間必要額を明示しているため、保護者に関しては年間支出計画が立てやすい。また、高等学校在学者に対しても、日本学生支援機構の予約採用のアナウンスや教育ローンの案内をするなど、学費負担者の立場にたつてのアドバイスを実施している。	4	・新型コロナウイルスの影響で、学生(受験生)の家計苦しくなったかもしれません。適切にローンや奨学金、アルバイト先の紹介に取り組み、入学辞退を減らす工夫をされてください。 ・適切に情報が開示・運営されている為、特に問題は見当たらない。 ・費用面において断念することがないように明確な表示とサポート制度の周知が大切だと思います。
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取り扱いを行っているか						
8 財務	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	5ヶ年を見越した収支計画は中長期的な視点で考えているため、財務基盤の安定に資するための大規模な計画もじっくりと立てることができ、この方針は今後も続けていく。	安定した運営を継続的に行うため、各学科における1学年の募集定員、介護福祉士科40名、鍼灸科30名、精神保健福祉士科40名の定員充足率100%を目指し、退学率4%以内を目指す。	3.9	・特に問題は見当たらない。 ・介護福祉士養成校の定員割れや閉校などの話題が多い中、大変優秀な運営をされていると思えます。 ・退学率を低くしている。
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか					
	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	5ヶ年を見越した収支計画を作成しているが、学校、学園本部、理事会・評議員会と複数の機会をチェックするためにより現実に即した予算編成になっているものと考え。学校の財務体制を管理し、健全な学校運営ができるように予算・収支計画は有効かつ妥当な手段として利用されている。	予算→四半期予算実績対比→決算という流れの中で、収支計画が実現可能なものとなり、財務基盤の強化につながっている点が特徴として挙げられる。	4	・特に問題は見当たらない。 ・財務が安定していないと健全な経営が出来ませんのでこの調子でお願いします。 ・問題ないと思われる。
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか					
	8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	私立学校法に基づく業務並びに財産の状況について監査を実施している。現在のところ、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考え。監査を有効に実施するため、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。	内部・外部両監査時における改善意見について記録し、適切かつ迅速に対応する。	4	・特に問題は見当たらない。 ・監査指摘事項を速やかに改善し、それを繰り返すことで組織のレベルは確実に向上していくと思えます。 ・問題ないと思われる。
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	財産目録、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など財務情報公開の体制整備は出来ている。	当法人の財務情報公開に関しては、常務理事が統括し、事務局長が責任者として担当する。また、事務担当者を置いて現場対応を行っている。＜公開書類＞1. 財産目録2. 貸借対照表3. 収支決算書4. 事業報告書5. 監査報告書	4	・社福もHP上での公開が義務となっています。是非公開されるとよいと思えます。 ・問題ないと思われる。	

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
9 法令等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは、整備されている。カリキュラムや教員要件はしっかりチェックし、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する研修を実施している。	監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。	4	・特に問題は見当たらない。 ・コンプライアンスあつての事業計画ですので監事監査も厳しくチェックされると良いと思います。 ・問題ない。
	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	学内で個人情報保護規定を定め、個人情報保護委員会が中心となり運用している。教職員に対しては、個人情報保護責任者は認定CPOアカデミック講座を通して、学校等における個人情報管理責任者として必要となる知識を習得。教職員は、認定CPAアカデミック講座を通して学校等における個人情報取り扱い従事者として個人情報を取り扱うために必要となる知識を習得した。それぞれ更新講習に取り組んでいる。学生と講師に対しては、オリエンテーションなどにおいてITリテラシーについてや個人情報保護について冊子を用いて伝えている。	外部機関の「TRUSTe」より国際規格の認証を獲得し、ホームページ上に明記している。学生と講師に対しては、オリエンテーションなどにおいてITリテラシーについてや個人情報保護について冊子を用いて伝えている。	4	・特に問題は見当たらない。 ・個人情報の流出は学校にとって死活問題となりますので、注意して頂けたらと思います。 ・個人情報の取り扱い方を学生にも周知しており、これからも続けて頂きたい。
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	年1回自己点検・自己評価を行い、学校関係者評価委員会で意見収集し、その結果をホームページに掲載している。	学校関係者評価結果に基づき短期的・中長期的課題の整理を行い、改善に取り組む。	4	・定期的に自己点検・自己評価等がおこなわれ、中期・長期目標の達成にむけて取り組まれていることが素晴らしいと思います。 ・特に問題は見当たらない。 ・学校関係者評価委員会での報告内容も適切であり、また委員の意見より真摯に学ぼうとする姿勢が素晴らしいと思います。
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか					
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか					
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	4	教育情報については、自己評価・自己点検の結果等と合わせてホームページに掲載している。	ホームページに掲載している教育情報については、必要に応じて更新をする。	4	・生きたHPを期待しています。 ・インターネットの利用が増えている為、更新の回数は多いと良いのではと思う。	
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	教育情報については、自己評価・自己点検の結果等と合わせてホームページに掲載している。	ホームページに掲載している教育情報については、必要に応じて更新をする。	4	・生きたHPを期待しています。 ・インターネットの利用が増えている為、更新の回数は多いと良いのではと思う。	
10 社会貢献・地域貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	教育資源を活用した社会貢献については、近隣の福祉施設、高等学校、関連団体とある程度の連携・交流は出来ている。地域貢献としては、定期的な近隣清掃及び防災ボランティア等への積極的な参加などを実践している。諸外国の学校などとの連携については、海外研修において、介護福祉士科はオーストラリアのラ・トロープ大学を訪問しており、鍼灸科は新型コロナウイルス感染拡大のため、学生の安全を第一に考え、中止とした。	地域防災ボランティアや地域健康増進推進事業への教員ならびに学生の参加。高等学校への講師派遣ならびに県下スポーツ競技へのトレーナー派遣を実施している。 令和元年度海外研修参加率 介護福祉士科: 63.6% 鍼灸科: 新型コロナウイルス感染拡大のため学生の安全を第一と考え、中止とした。	4	・高い意識をもって取り組んでいると感じる。 ・社会資源としての学校が地域に役立られ貢献していくことが学校の発展にもつながると思います。 ・問題なし。
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか					
	10-37-1 学生ボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	ボランティア活動の場は対人援助職に求められるコミュニケーションスキルの向上に役立つため、学生への参加を促している。	地域防災ボランティアや地域健康増進推進事業への参加や地域清掃を実施している。	4	・高い意識をもって取り組んでいると感じる。 ・近いうちに必ず何らかの災害は訪れると思います。その際に学校や学生が間に合うように想定しておかれると良いと思います。 ・地域への参加は良いと思う。